

### 労働立法制定要求に関する件

提議

### 提案 大阪化学一般産業労働組合

主 文

吾らは労働階級の生活を擁護するために真に労働者の利益を中心とする労働諸立法の制定並びに現行法の改正を要求するものである。

理 由

労働立法は資本主義の矛盾から来る所の缺陷を補はんため  
の方法である。故に缺陷を行する資本主義を固守するこ  
ろの資本家階級が當然其の責任を負はねばならぬものであ  
る。然るに今日吾が國に於ては労働立法なるものが殆んど  
制定せられてゐない。僅かに制定せられたるものありとは  
云へ、それは單なる申譯であり、欺瞞的なものである。吾  
らは斯かる欺瞞政策に甘んじることなく、吾々労働者の上  
に眞に利益となるべき法の獲得に邁進せねばならぬ。  
一、法の制定を要求すべきもの

自主的労働組合法、失業保険法、最低賃銀法、交通事故  
特別裁判法、團體協約法、養老扶助年金法、職業紹介法  
商店法、入業者職業保證法、労働時間法、産業労働法、  
二、改正を要求すべきもの  
工場法、鐘業法、健康保険法、屋外労働者保護法、争議  
調停法、  
等を急務とするものである。

實 行 方 法

- 一、全産聯其の他一切の資本家團體に抗争すること。
- 二、上層機關に提議し協力すること。
- 三、黨の協力を得ること。
- 四、當局に對しては根強く要求すること。

### 全國労働同盟歌

一、大衆の歩武堂々と

資本の牙城にせまる

戦志固く 團結の

血盟の旗守れ

(折返し)

イザ進め 暴壓の

嵐吹く 職場に

プロレタリアの血ににじむ

全勞の旗 なびく

二、奴隸の鐵鎖たち切りて

われらは腕を組みぬ

血に飢えしブルジョアの

魔の手を拂ふは誰ぞ

三、闘ひをさげ屈辱の

安きにつくは誰ぞ

労働者 解放の

使命を知らぬ者ぞ

四、専制飽くなき支配者の

暴虐の鞭高し

正義に生きる者のみよ

自由の歌をうたふ

五、理想にもゆる大衆の

誓は全土に満ちて

見よ 搾取なき社會まで

われらの旗は 進む